

事業所名 社会福祉法人ゆうゆうamaririsu（放課後等デイサービス）

公表日 2025年3月1日

利用児童数 39人（31世帯）

回収数 15人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか？	14	1				
	2 職員の配置数は適切だと思いますか？	13	1	1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすい環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、こどもの状態に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか？	13	1		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか？	11	3		1		建物の経年劣化により修繕が必要な個所がでてきております。安全に過ごせるよう整備していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特徴等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか？	15				家ではやらないことを、アマリリスさんではしてくれるので助かっています。	
	6 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか？	15					
	7 放課後等デイサービス計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか？	15					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていると思いますか？	12	2		1		平日の活動について見直していきます。
	9 外出プログラムや外出イベントなどで、地域の人や子どもと活動する機会がありましたか？	14			1		
	10 事業所を利用する際に、支援の内容、利用者負担等について適切な説明がなされていましたか？	15					
	11 「放課後等デイサービス計画」（個別支援計画）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか？	15					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(保護者交流会やペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか？	14	1				
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解ができていましたか？	15					
	14 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか？	15					
	15 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか？	15					
	16 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか？また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか？	13	1		1		きょうだいの日、保護者交流会、ペアレントトレーニングを現在実施しております。
	17 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか？	12	2		1		
	18 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか？	14			1		
	19 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか？	14			1		
	20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか？	14	1				
	21 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか？	13	1		1		
22 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか？	11	1		3		避難訓練を年に2回実施しております。	
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか？	11			4		安全計画について定期的にLINEにて周知していきます。
	24 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか？	14			1		
	25 こどもは安心感をもって通所していますか？	15					
	26 こどもは通所を楽しみにしていますか？	15					
満 足 度	27 事業所の支援に満足していますか？	15				・平日はもちろん土曜、祝日も利用出来感謝しています。いつも本当にありがと	
	28 主に学校休日に行われているイベントに満足していますか？希望のイベントがございましたら、備考欄にご記入ください。	15					

事業所名 社会福祉法人ゆうゆうamaririsu（児童発達支援）

公表日 2025年3月1日

利用児童数 4人(3世帯)

回収数 3人

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか？	3					
	2 職員の配置数は適切だと思いますか？	3					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすい環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、こどもの状態に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか？	3					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか？	3					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特徴等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか？	3					
	6 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか？	3					
	7 児童発達支援計画（個別支援計画）に沿った支援が行われていると思いますか？	3					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されていると思いますか？	3					
	9 外出プログラムや外出イベントなどで、地域の人や子どもと活動する機会がありましたか？	2	1				
	10 事業所を利用する際に、支援の内容、利用者負担等について適切な説明がなされていましたか？	3					
	11 「児童発達支援計画」（個別支援計画）を示しながら、支援内容の説明がなされましたか？	3					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(保護者交流会やペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか？	3					
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解ができていましたか？	3					
	14 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか？	3					
	15 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか？	3					
	16 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか？また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか？	3					
	17 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか？	3					
	18 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか？	3					
	19 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか？	3					
	20 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか？	3					
	21 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか？	3					
22 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか？	3						
非 常 時 等 の 対 応	23 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか？	3					
	24 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか？	3					
	25 こどもは安心感をもって通所していますか？	3					
	26 こどもは通所を楽しみにしていますか？	3					
満 足 度	27 事業所の支援に満足していますか？	3					
	28 主に学校休日に行われているイベントに満足していますか？希望のイベントがございましたら、備考欄にご記入ください。	2	1				

事業所名	社会福祉法人ゆうゆう amaririsu		公表日	2025年 3月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用人数によって部屋の使い方を工夫しているのは良いと思う。体育館や公園などの施設を利用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		手厚いと思う。子どもと遊ぶだけでなく子どもたちを遊ばせることもあっていいと思う。	・学生スタッフが沢山来ていることは良いことだが、これからのことを見据えると学生スタッフが少ない状態はどう回していくかが課題になってくると思う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		サービスごとに行う清掃だけではなく、1年の節目節目に清掃を行っている。	定期的によく使うおもちゃを消毒してもよいかと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		図書室を個別部屋として利用しているが、複数あると更に良いと思う。図書室がそういった環境になっていると思う。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	職員の個別面談を取り入れているのは良いと思う。毎日の振り返りができていて有意義。	準職員の参画が不足していると思う。目標設定については充分ではないかもしれない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2		まだ評価表を見たことがないので、どの点が改善されているかが分からない。（※ホームページに公開はされているが見ていない）事前の打ち合わせ、最後の振り返りで機会があるといえるが充分とは感じない
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員の個別面談で業務についての話し合いは出来ていると思う。	勤務状況的に難しいと思いますが、意見交換する場は少ないように思います。準職員の意見を把握する機会（面談）を今年度はまだ実施出来ていない。日々の振り返りで自由に言える雰囲気はあるが学生さんがいっぱい入っているのでもっとあってほしいかもしれない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		実感がわかりません。外部評価が行われているのかが把握できない。どういう形でできるのか分からないが今のところ行っているか評価結果をきかないので一度やると面白いかも。（※現在未実施）
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		虐待防止研修は対話研修、当事者のリアルなど様々な研修に参加出来、勉強になっている。たまにオンラインでの研修があるがいい機会になる。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1		3月に公表。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		半年ごとの計画更新の動きが出来ていて良いと思う。	アセスメント結果や保護者のニーズが現場の支援者に周知されるとよいかと思う。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	スタッフミーティングの時に確認している。	利用者さん個々の実態と課題がどのように職員間で共通理解されているのか見づらい面があるかと思います。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		学生スタッフにも支援計画を見ながら引き継ぎを細かくしている所。	個別ワークのねらいやワークを準備するシートで利用者の状況に合わせて更新がもう少し頻繁にあってもよい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1	月ごとの支援者会議にて、イベント案やプログラム案を検討している。減ってきている気がするので目新しいものを追及するだけでなくよいものは改善しながら繰り返しても悪くないと思われます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1		さりげない集団活動がもっとあってもよいかも。集団活動が苦手という特性の子どもが多いので難しいが個別活動に重きがある気もする。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			記録を書きっぱなしにしてしまうが内容によっては取りあげて深めるのもよいかもしいない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			どれくらい定期的か知りませんが子どもによっては期間を短くしたり長くするなど皆が同じ定期でなくてもよいと思います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			学校との連携、利用者さんの課題や対応のリンクはもう少し必要かと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		事故責任の所在に関わる問題から難しいようですがあれば面白いと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6			

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		2か月に一度、利用者のきょうだいをお呼びして活動する「きょうだいの日」を実施しています。また都度保護者同士の交流の機会も企画し、高校入学前のお子さんを持つ保護者と実際に高校へ入学したお子さんを持つ保護者との交流会を実施しています。 2か月に1回きょうだいの日を実施している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		わかりません
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1		保護者情報からアレルギーは把握しているが、医師の指示書は把握していないと思う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人ゆうゆう amaririsu		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 17日		2025年 1月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31世帯	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 12月 17日		2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
	専門職や幅広い人材が雇用されていること。	・各専門職(社会福祉士、保育士、作業療法士)を雇用し多面的に利用者の状況を捉えている。 ・利用者と同年代に近い学生アルバイトを雇用しているほか、幅広い年齢層の職員が関わっている。	・ひとりひとりの支援の質を向上させるために、研修を増やし、利用者の理解を深めるためのケース会議等を実施する。 ・医療的ケアができる職員、言語聴覚士、公認心理士など専門職を雇用する。
	1利用者当たりのスタッフ数が多く、安心して通うことができる環境を整えていること。	・低学年や重度障害の利用者に対し、マンツーマンの支援を行っている。 ・積極的に実習生の受け入れを行い、ボランティアやアルバイトにつなげている。	・大学の移転に伴い学生アルバイト雇用の減少が予想されるため、実習生受け入れの環境を整えたり、地域住民のボランティア、雇用に促進する。
	虐待防止研修、対話型研修、当事者のリアルなど様々な研修を実施していること。	利用者との関わり方や支援方法、スタッフの業務などについての研修を行い、学ぶ機会を作っている。	内部だけではなく、外部の研修にも参加しやすい勤務体制を作っていく。
	毎日のサービス提供後にその日のスタッフ全員で振り返りを行っていること。	その日の出来事で、利用者の良かったこと成長したことや関わりで困ったことを話し、職員間で情報共有したり助言や改善策を話し合いをしたりしている。	振り返りだけではなく、現在は常勤職員のみで行っているケース検討会を非常勤職員にも参加機会を提供し、利用者の理解をより深めていく場を設ける。
	学校休業日のイベントが充実していること。	・中高生向けイベントなどライフステージに応じた経験を意識してイベント設定している。(全学年で実施し縦の繋がりを意識することもある) ・当別町、法人の資源を活用したイベントの実施(田植え、森イベント、町内の各種祭りへの参加等)	・利用者のニーズを細かく把握しながらイベントの内容を検討する。 ・利用できる資源を増やす。
	2か月に一度、利用者のきょうだいが参加できる「きょうだいの日」を実施していること。	・「きょうだいの日」を実施することで、きょうだいも一緒に参加し楽しむ機会を作っている。 ・きょうだいの思いを理解し、事業所とのつながりを作っている。	引き続き「きょうだいの日」を設定し、安心して過ごせる居場所やいつでも相談が出来る場所を提供する。
	保護者同士の交流の機会をつくっていること。	保護者交流会を企画することで、進学や仕事などの情報共有の場を作っている。	保護者のニーズに合わせてテーマを設定し交流の場を継続してつづけていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
	アセスメント結果や保護者のニーズの記録がファイル化されているが、情報が不足していることがある。 支援内容の見直しが利用者の変化に合わせて短い期間であってもよいと思う。	支援計画を作成している職員もしくは常勤職員のみしか情報が共有されていないことがある。	利用者の情報を職員に周知するために、個人ファイルの内容の見直しを行い、さらにケース検討会の場を増やしていく。
	イベントのない日の活動プログラムが固定化されている。	イベントがない日の活動が特になく、子どもによっては日々の過ごし方が固定化されている。	・イベント以外の活動の種類を増やす。 ・平日のイベントを増やす。
	建物や内装が経年劣化している。 物品の整理整頓が不十分である。	・日々の清掃は行っているが、おもちゃの消毒、環境整備が整っていないかったり、修繕が必要な箇所があり清潔感に欠けている(おもちゃ室が乱雑、壁が剥がれている、窓が壊れている等)	・壊れているものを修繕する。 ・定期的なおもちゃ消毒、整理整頓を行う。